



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日
上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社
コード番号 4099 URL <http://www.shikoku.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼 C. E. O. (氏名) 山下 矩仁彦
問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 企画・管理担当(氏名) 富田 俊彦 (TEL) 0877-22-4111
四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,638	3.3	2,764	△9.8	3,031	△6.7	2,064	△0.4
26年3月期第2四半期	22,881	9.0	3,063	9.2	3,248	19.2	2,071	28.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,703百万円(2.2%) 26年3月期第2四半期 2,646百万円(290.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	35.32	—
26年3月期第2四半期	35.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	67,447	47,995	70.4
26年3月期	66,042	45,241	68.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 47,485百万円 26年3月期 44,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	1.0	6,150	0.6	6,300	△2.2	4,000	1.9	68.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	58,948,063株	26年3月期	58,948,063株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	505,132株	26年3月期	504,205株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	58,443,589株	26年3月期2Q	58,446,579株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場の円安ドル高による輸出関連企業の収益改善を背景とした設備投資や雇用情勢の回復傾向が続く一方で、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により個人消費や住宅投資に弱さがみられるなど、先行き不透明な状況で推移しています。一方で世界経済は、米国経済が緩やかな景気拡大を続けているものの、アジア、ユーロ圏の減速により世界経済全体の低迷が懸念され、金融市場も不安定化しています。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の売上高は236億38百万円（前年同期比3.3%の増収）となりましたが、利益面におきましては、営業利益は27億64百万円（前年同期比9.8%の減益）、経常利益は30億31百万円（前年同期比6.7%の減益）、四半期純利益は20億64百万円（前年同期比0.4%の減益）と、いずれも前年を下回る結果となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、輸出を中心に販売が好調に推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は、輸出販売が低調に推移しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、収益性の改善に注力しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、主要市場である米国において、米国メーカーから反ダンピング法に訴えられたことにより一時的に米国への輸出を停止しました。このため稼働率の低下による製造コスト上昇を余儀なくされ、採算性が低下しました。（なお、この米国メーカーによる訴えは米国国際貿易委員会（ITC）によって退けられたため輸出は再開できる見通しです。）排水処理剤ハイポルカは市場開拓と収益性の改善に注力しました。

（ファイブ ケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは、国内販売、輸出ともに好調に推移しました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、国内販売が低調に推移したことに加え、今後の機能材料事業の展開を見据えた設備増強にかかる償却負担などにより収益性は低下しました。

この結果、化学品事業の売上高は145億56百万円（前年同期比3.0%の増収）となりましたが、セグメント利益は25億85百万円（前年同期比12.2%の減益）となりました。

②建材事業

（壁材）

新設住宅着工戸数の減少や湿式壁材市場の停滞により、低調に推移しました。

（エクステリア）

カーポートや自転車置場などを中心に、住宅分野、景観分野ともに、販売は好調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は87億47百万円（前年同期比4.9%の増収）、セグメント利益は9億63百万円（前年同期比8.5%の増益）といずれも前年を上回りました。

[参考情報]

【販売実績】

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	5,647	5,818	103.0
有機化成品 (百万円)	4,273	4,657	109.0
ファイン ケミカル (百万円)	4,205	4,080	97.0
小計 (百万円)	14,126	14,556	103.0
建材事業			
壁材 (百万円)	1,231	1,112	90.3
エクステリア (百万円)	7,104	7,635	107.5
小計 (百万円)	8,335	8,747	104.9
報告セグメント計 (百万円)	22,462	23,304	103.7
その他 (百万円)	419	334	79.9
合計 (百万円)	22,881	23,638	103.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	4,581	20.0	4,622	19.6
北米	2,447	10.7	2,890	12.2
その他の地域	676	3.0	879	3.7
合計	7,705	33.7	8,392	35.5
連結売上高	22,881		23,638	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比14億5百万円増加し、674億47百万円となりました。主な増加は現金及び預金30億78百万円、投資有価証券7億92百万円、主な減少は、受取手形及び売掛金21億20百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比13億48百万円減少し、194億52百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金12億36百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比27億54百万円増加し、479億95百万円となりました。主な増加は、利益剰余金18億62百万円、その他有価証券評価差額金5億79百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.1%から70.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、46億32百万円(前年同期比23億46百万円の増加)となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益32億44百万円、売上債権の減少額26億38百万円、減価償却費8億21百万円、一方で主な支出項目は、仕入債務の減少額16億9百万円、法人税等の支払額8億91百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、10億99百万円(前年同期比2億28百万円の減少)となりました。主として、有形固定資産の取得による支出5億99百万円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、4億50百万円(前年同期比3億35百万円の減少)となりました。主として、配当金の支払額3億50百万円、長期借入金の返済による支出2億5百万円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、138億11百万円(前連結会計年度末比31億83百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、当初の計画(平成26年4月30日発表)を変更しておりません。なお、下期の主要な為替レートは、105円/米ドル、138円/ユーロと想定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2億23百万円減少し、退職給付に係る資産が5百万円、利益剰余金が1億48百万円増加しております。また、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,732	13,811
受取手形及び売掛金	14,788	12,667
商品及び製品	5,863	5,669
仕掛品	108	112
原材料及び貯蔵品	2,231	2,242
繰延税金資産	653	622
その他	326	317
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	34,700	35,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,864	4,821
機械装置及び運搬具(純額)	3,656	3,492
土地	8,379	8,789
建設仮勘定	57	215
その他(純額)	527	452
有形固定資産合計	17,485	17,771
無形固定資産	326	355
投資その他の資産		
投資有価証券	12,238	13,030
繰延税金資産	658	273
その他	663	601
貸倒引当金	△30	△24
投資その他の資産合計	13,529	13,881
固定資産合計	31,341	32,008
資産合計	66,042	67,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,876	6,640
短期借入金	1,950	1,980
1年内返済予定の長期借入金	327	1,317
未払法人税等	823	1,057
役員賞与引当金	70	34
その他	3,313	3,120
流動負債合計	14,360	14,149
固定負債		
長期借入金	1,545	563
繰延税金負債	26	42
再評価に係る繰延税金負債	1,549	1,549
役員退職慰労引当金	71	84
退職給付に係る負債	2,363	2,186
資産除去債務	347	348
その他	536	528
固定負債合計	6,440	5,302
負債合計	20,801	19,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	29,692	31,554
自己株式	△297	△297
株主資本合計	42,005	43,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,439	2,018
繰延ヘッジ損益	△21	△42
土地再評価差額金	2,080	2,080
為替換算調整勘定	△136	△99
退職給付に係る調整累計額	△374	△338
その他の包括利益累計額合計	2,987	3,618
少数株主持分	247	510
純資産合計	45,241	47,995
負債純資産合計	66,042	67,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	22,881	23,638
売上原価	14,417	15,131
売上総利益	8,463	8,507
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,670	1,580
広告宣伝費	349	323
給料	975	999
役員賞与引当金繰入額	31	34
退職給付費用	112	117
役員退職慰労引当金繰入額	14	7
研究開発費	536	657
その他	1,710	2,023
販売費及び一般管理費合計	5,400	5,743
営業利益	3,063	2,764
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	225	237
為替差益	2	99
雑収入	27	11
営業外収益合計	262	354
営業外費用		
支払利息	13	11
売上割引	59	64
雑損失	4	12
営業外費用合計	77	87
経常利益	3,248	3,031
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	—	167
段階取得に係る差益	—	50
特別利益合計	0	217
特別損失		
固定資産除却損	16	5
特別損失合計	16	5
税金等調整前四半期純利益	3,232	3,244
法人税等	1,152	1,173
少数株主損益調整前四半期純利益	2,079	2,070
少数株主利益	7	6
四半期純利益	2,071	2,064

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,079	2,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	512	581
繰延ヘッジ損益	30	△20
為替換算調整勘定	24	36
退職給付に係る調整額	—	35
その他の包括利益合計	567	632
四半期包括利益	2,646	2,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,633	2,695
少数株主に係る四半期包括利益	13	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,232	3,244
減価償却費	829	821
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△44	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△257	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	32
受取利息及び受取配当金	△232	△243
支払利息	13	11
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
受取保険金	—	△167
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△50
有形固定資産除却損	16	5
売上債権の増減額(△は増加)	1,650	2,638
たな卸資産の増減額(△は増加)	240	485
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,936	△1,609
その他	△261	△219
小計	3,250	4,940
利息及び配当金の受取額	232	243
利息の支払額	△14	△11
保険金の受取額	—	167
和解金の受取額	—	183
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,181	△891
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,286	4,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△857	△599
有形固定資産の売却による収入	47	—
有形固定資産の除却による支出	△6	△2
無形固定資産の取得による支出	△205	△19
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△221
投資有価証券の取得による支出	△263	△189
その他	△43	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,328	△1,099
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50	△50
長期借入れによる収入	100	200
長期借入金の返済による支出	△536	△205
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△350	△350
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△43	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△785	△450
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	230	3,183
現金及び現金同等物の期首残高	9,947	10,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,177	13,811

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,126	8,335	22,462	419	22,881	—	22,881
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	122	123	△123	—
計	14,127	8,335	22,463	541	23,005	△123	22,881
セグメント利益	2,945	887	3,833	37	3,871	△808	3,063

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△808百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△808百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,556	8,747	23,304	334	23,638	—	23,638
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	130	130	△130	—
計	14,557	8,747	23,305	464	23,769	△130	23,638
セグメント利益	2,585	963	3,548	35	3,584	△820	2,764

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△820百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△820百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。